

分度器を使って、下のようにならぬ線をかいていくと、星型の図形がかけます。

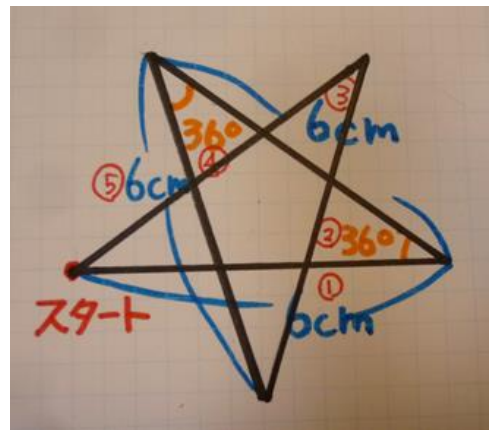
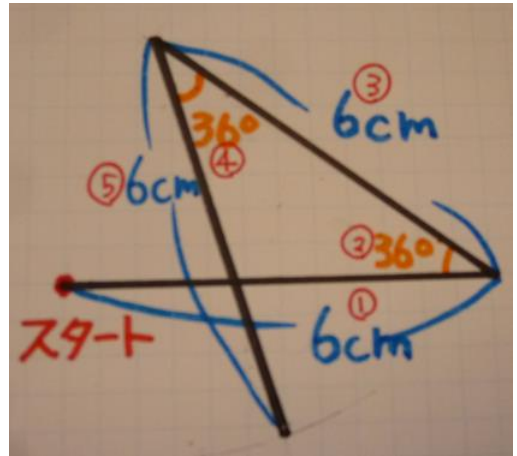
分度器で角度をはかる練習として、挑戦してみましょう。

【準備するもの】 分度器 えんぴつ ものさし 図形をかく紙(マスのあるものがかきやすい)

【かき方】

- ① スタートの点を決めて、その点から6cm (他の長さでもよい) の直線をひきます。
- ② 直線の右はしに分度器の 0° を合わせ、 36° はかります。
- ③ 36° の角度で6cmの直線をかきます。
- ④ 分度器で 36° はかります。
- ⑤ 36° の角度で6cmの直線をかきます。

※これを直線がスタートにもどるまでくり返します。



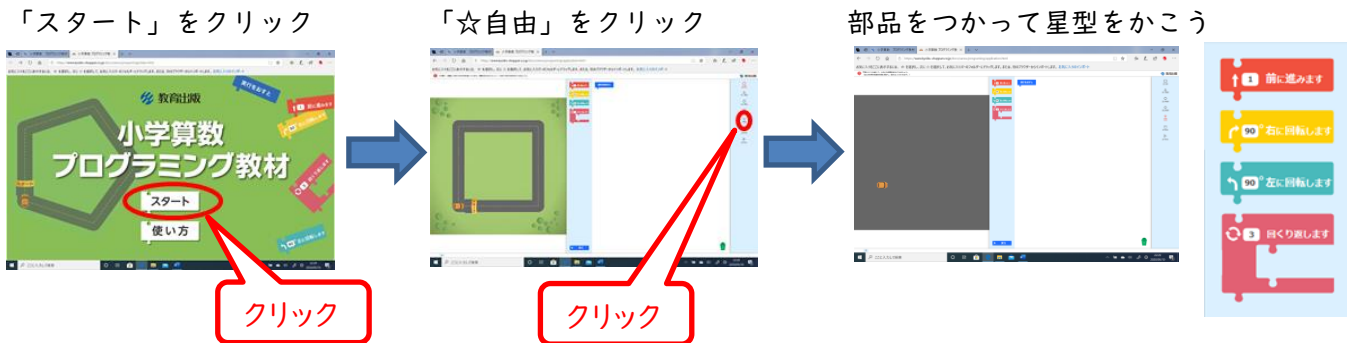
💡 分度器ではかる角度を 45° 、 30° 、 20° …とかえていくと、もっと頂点の多い星型をかくことができます。どんな星型になるでしょう？ ぜひ挑戦してください。

2 分度器を使ってかいた図形を、プログラミング教材を使って、かいてみましょう。

【使用するソフト】

小学校プログラミング教材—教育出版

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/docs/sansu/programing/index.html>



① 36° のとき



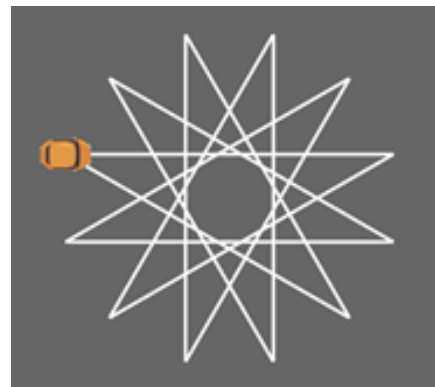
② 45° のとき



③ 30° のとき



④ 20° のとき



- 💡 分度器ではかった角度と同じ角度を部品の中(○の部分)に入れても、星型ができずにこまっていますか？
自動車が何度回ると、つくりたい角度の角ができるか考えましょう。
例) 36° の角を作りたい場合は、自動車を144° 回します。



- 💡 部品には「右に□° 回転します。」と「左に□° 回転します。」の2種類の回転があります。どちらの部品を使うかで、できあがる図形にちがいはあるのでしょうか？